

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1298 号	氏名	小山 正三朗
学位審査委員	主 査	中島 正洋	
	副 査	江口 晋	
	副 査	三浦 清徳	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 内視鏡手術時の止血法であるベッセルシーリングシステム LigaSure を応用して新たに開発した Flat Coagulation(以下、FC)法を、従来の各種デバイスによる止血法と、臓器への影響、安全性や簡便性を比較検討し、その有用性を評価するもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ミニブタを用いた動物実験で、生体臓器への熱影響を電気メス（ソフト凝固モード）、LigaSure、Sonicision（超音波凝固切開装置）の3種類のエネルギーデバイスを用いて評価した。安全性と簡便性は、医学生、外科医師15人を対象にFC法と電気メスでの止血実験を行い各々の施術時間を比較し、さらに実験後試験者に対しデバイスの有用性に関するアンケート調査を行って評価したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、FC法ではエネルギーデバイスによる熱影響は、従来の止血法と比べて軽度で、静脈叢からの平面的出血パターンに対しても有効で安全であり、アンケート調査では技術的な簡便性が明らかになった。これらの結果はLigaSureを用いたFC技術が内視鏡手術における新たな止血法になる可能性を示すものとして評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は、外科治療学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			